

朝やけの詩 (1973)

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 130分

初公開日 1973/10/27

【解説】

山内久と桂明子によるオリジナル脚本を、熊井啓が監督した。熊井は脚本執筆にも参加している。環境破壊を描いた社会派サスペンス。

日本アルプスを望む信濃高原にある開拓村。牧場経営を夢見る作蔵は、三人の子供と暮らしていた。妻の八重子は貧しい生活から逃げ出し、和夫と道子の世話は長女の春子が見ていた。信濃高原に巨大なレジャー施設の建設をもくろむアポロ観光社長の神山は、地元の有力者である稲城と手を結び、着々と計画を進めていた。春子の恋人の朝夫は神山のやり方に反発するが、死んだ自分の父が稲城の兄だったことを知りショックを受ける。勝手に測量を始めるアポロ観光に激怒した作蔵は、彼らを妨害したため警察に逮捕されてしまう。

【クレジット】

監督 熊井啓

製作 佐藤正之

椎野英之

脚本 山内久

桂明子

熊井啓

撮影 岡崎宏三

美術 坂口武玄

編集 中静達治

音楽 松村禎三

助監督 宮川孝至

出演 仲代達矢 Tatsuya Nakadai

北大路欣也

関根恵子

佐分利信

松本克平

高林由紀子